

ハローワークで新卒者の就職支援を進めています！

ハローワークでは、将来の日本を担う新卒者が安定した仕事に就けるよう、新卒者・既卒者の就職支援を進めています。

～新卒者（就職活動中の学生・既卒者）への支援を進めています～

○全都道府県にワンストップで新卒者を支援する「新卒応援ハローワーク」を設置

全都道府県に、就職活動中の学生・既卒者の皆様が利用しやすい専門のハローワークとして、「新卒応援ハローワーク」（全国57カ所）を設置しています。お気軽にご利用ください。

【実績】平成23年度はのべ58.1万人が利用し、7.5万人が就職決定

平成24年度はのべ71.0万人が利用し、9.4万人が就職決定

平成25年度はのべ70.0万人が利用し、10.0万人が就職決定

【主な支援メニュー】

- ・全国ネットワークによる豊富な求人情報の提供、職業紹介、中小企業とのマッチング、求人開拓、就職活動に役立つ各種セミナー
- ・就職までの一貫した担当者制による個別支援（求人情報の提供、就職活動の進め方、エントリーシートの添削、面接指導等）
- ・臨床心理士による心理的サポート

※ 新卒応援ハローワークの所在地・連絡先はこちら→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/5a.pdf>

○「ジョブサポーター」によるきめ細かな支援

「学卒ジョブサポーター」を配置（2,108人（平成26年度））し、きめ細かな支援を行っています。

【実績】平成23年度は16.3万人の就職が決定（のべ相談件数100万件）

平成24年度は19.4万人の就職が決定（のべ相談件数113万件）

平成25年度は20.0万人の就職が決定（のべ相談件数111万件）

【大学・大学生等への主な支援内容】

大学等と連携した出張相談・就職支援セミナー、新卒応援ハローワークにおいて就職活動中の学生・既卒者への個別支援（エントリーシートの作成相談、面接指導、応募先の選定など）及び求人開拓等を実施

【高校・高校生への主な支援内容】

学校と密接に連携し、求人情報の提供、職業適性検査や各種ガイダンス・セミナー、求人開拓、未内定者に対する一貫した個別支援（職業相談、応募先の選定、面接指導等）等を実施



～未内定就活生への集中支援2014、未就職卒業生への集中支援2014～

○文部科学省・経済産業省との連携により一人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、1月から3月末まで「未内定就活生への集中支援2014」に取り組みました。

○また、引き続き6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2014」に取り組み、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、就職が決まるまで全力で支援を行ってきました。

卒業後においても新卒応援ハローワークにおいて、ジョブサポーターによる個別支援、就職面接会の開催等を行い、1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行いました。

【実績】平成23年度は3.9万人が就職（24年1～3月）、さらに卒業後も集中的に支援、6月末までに2.5万人が就職。

平成24年度は4.1万人が就職（25年1～3月）、さらに卒業後も集中的に支援、6月末までに2.0万人が就職。

平成25年度は3.7万人が就職（26年1～3月）、さらに卒業後も集中的に支援、6月末までに1.7万人が就職。

～新卒者と中小・中堅企業とのマッチングに取り組んでいます～

新卒者が中小・中堅企業の人事担当者に直接、仕事の内容・魅力などを直接確認・応募できるように、企業説明会や就職面接会を開催しています。平成25年度は1,236回実施。

さらに、高校生を対象に、学校推薦開始前の職場見学会や企業経営者などによる仕事についての講演会（キャリア探索プログラム）、職場体験受け入れ先の開拓支援などを行っています。



【左:企業説明会】【中:キャリア探索プログラム】【右:高校生の職場体験】

ジョブサポーター支援対象大学生就職決定者数

ジョブサポーターの新卒者(大学4年生等)に対する支援は、主に卒業が間近に迫った年度後半を中心に実施しており、大学と連携することにより、年度末までに未内定の学生を新卒応援ハローワークに登録し、学生に対し切れ目のない支援を提供している。

なお、卒業までに就職できない場合は、早期の就職を目指し、引き続き新卒応援ハローワーク等で担当者制による個別支援を継続しており、卒業直後の4月から6月までに多数の既卒者が就職している。

単位：千人

